

キリスト者学生会北陸地区協力会

KGK

NEWS LETTER 2018.09

No.76

発行日/2018年9月 発行責任/北陸地区協力会

連絡先/北陸地区KGK：〒930-0851 富山県富山市奥田双葉町 1-40 飯沼方

郵便振替：00790-5-45068 KGK 北陸地区公式 HP アドレス：http://church.ne.jp/kgk-hokuriku/

◆ 巻頭言 ◆

根上 可奈子（聖書教会連盟 内灘聖書教会ユース担当主事）

私がKGKの存在を知ったのはTCU2年の時です。クリスチャンの大学生の集まりがあると実習先の教会の大学生から聞き、私も是非参加したい！と言ってみたところ、他大学からTCUに編入してきた同級生に、「いやここ神学校やし、みんなキリスト者やから同じようなもんやで。」と言われ、結局KGKをよく知らないまま卒業してしまいました。

内灘聖書教会のユース担当主事に着任してからは、色々と情報や繋がりが増え、KGKの集まりにお邪魔させて頂くようになりました。私が着任した時、教会にいる大学生たちの反応は「KGK?なにそれ?」的な空気でしたが、教会の大学生にKGKを勧めてからはKGKに参加する学生が一人、また一人と増え、その中で成長する大学生達を間近で見えるようになりました。

中でも当時求道者だった人がKGKについて知った時、「聖研を自分の大学でもやりたい」と自発的に、積極的な態度を示した時は本当に驚かされました。そしてその頃から彼女は毎週日曜日の礼拝につながるようになり、明確な信仰の確信が与えられ、受洗へと導かれました。彼女が大学生という限りある時間の中で神様を選び取った事、それは本当に大きな励ましとなりました。

大学と聞いて思い浮かぶのは、日本と海外の違いです。よく言われているのは、日本の大学は入るのが難しいが出るのは簡単。海外の大学は入るのは簡単だけど出るのが難しい、というもの。親や周りのプレッシャーがある中、壮絶な受験戦争を勝ち抜いて、やっと目当ての大学に入学したとしても、「入る事」が目標になっていけば、その後の大学生活に影響が出ます。ある方がブログで「実際に日本の大学生は大学生活中にサークルやバイトなど勉強よりも没頭するものがあるイメージ」と綴っていました。「勉強は大学受験までで、大学に入れば勉強以外の経験を増やすことに重きを置いている。ただ、日本の大学は後半にゼミや卒論が待ち構えているので、その時だけは勉強をする。そして、3年生でインターンシップや説明会が始まり、4年生はほぼ取る単位もなくひたすら就活に明け暮れる。」私は今北陸学院大学での集会で奉仕する機会があるのですが、関わる学生達を見ていてこのブログの言葉に感じるところがあります。大学生たちには是非、真実を求め、それを選んで欲しい。

私たちの罪の原点であるアダムとエバの罪。エデンの園の中央にある木の実だけはとってはいけないよ、その代わり、他の全てのをあげよう。これが神様の言われた事でした。アダムとエバに与えられたこの「選択の自由」は、実は今も私たちの前に置かれています。「私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。申命記 30 章 19 節」

いのちと死、祝福とのろい。どちらを選ぶかと聞かれたら、100%一つ目を選ぶでしょう。なぜなら私たちは死よりもいのちが、のろいよりも祝福の方が良いものである事を知っているからです。しかし、本当にいのちを選んでいくのでしょうか？ 自分の前の選択がいのちに関わるものだと思っているのでしょうか。

多くの学生たちは、この時代にあって日々変わる価値観に翻弄されています。サタンは快楽や偶像をもって私たちを誘惑してきます。そんな中、大学生たちがいのちを選ぶことができるようにと願います。

続けてKGKが今の時代を生きる大学生たちに、本当に真実なものについて考え学ぶところとなり、信仰を励まし祈り合う場となり、益々多くの魂が神様につながる事を願います。



K大 4年 KY



私は子供の頃から自分の人生の意味や、生死についてよく考えていました。というのも、私の両親の職業がそれらのことと密接に結びつく仕事だったからです。父は養護学校の先生であり、自分の足で歩けない子供や家族と一緒にご飯を食べられない生徒の話をしてくれました。母は小児科の看護師で、生まれて間もなく亡くなった赤ちゃんや重い病気を背負って育っていく幼児の話をよくしていました。普段の家族の会話が障害や病気、死をテーマにしたものが多かったため、そういったものを伴わずに生きている自分・恵まれた自分の人生(障害や病気を患うことが恵まれていないという意味ではなく、日常生活の「普通」のことにも恵みを感じていたということ)についてよく考えていました。また大学に入ってから、国際学を学ぶことを通して、貧困や戦争で苦しむ人が

いる中で、私のような自分勝手な人間がどうしてこうも恵まれているのだろうと葛藤したこともありましたが、しかし、そのような考えが頭に起こることがあっても、それはまれで、他の人がするように普通の大学生活を送っていました。

そんな私の人生に転機が訪れたのは、2017年2月からのオーストラリアへの留学でした。現地に到着した最初の日曜日、ある留学生在が私をある場所へ誘いました。無料の夕食と英語が聞けるチャンスがあるので、私はそこに連いて行きました。そこは教会でした。行ってみると、驚いたことに本当に多くの同い年くらいの学生が熱心に、しかも真剣に歌を歌ったり、説教のメモを取っていました。私はそこで生まれて初めてクリスチャンに出会いました。教会にいた学生は、本当にみんな穏やかで優しく、私のつたない英語をゆっくり聞いてくれました。私はすぐに教会やクリスチャンの人が好きになり、そこで多くの友人を作りました。

ある日、知り合った1人のクリスチャンが毎週金曜の夜一緒にご飯を食べ、聖書を読まないかと誘ってきました。なぜ、それほどの方が、しかもまだ若い学生がそこまで聖書に真剣になれるのか好奇心をもった私は二つ返事でOKと言いました。4か月ほどして、ルカの福音書・ローマ書を読み終えた私はある程度の知識もつきましたが、神様は私とは関係のない存在だと思っていました。しかし、ある日の午後神秘的な体験をしました。それは、すべての人に注がれている神様の愛が、私が子供の頃から感じていた私の人生の恵みと頭の中で重なった時でした。私が自分勝手に生きているときでも、神様は私を見守り、そして無条件の愛を注いでくれていたのだと感じました。その両親のもとに生まれ、オーストラリアの教会で神様の愛に触れ、そして改心するのもすべて愛である神様の導きによっていたのだと思われました。

帰国後も、何度も神様は私の人生に働きかけ、現在では大切な信仰の友が日本にも数多くできました。これからも、道を誤ることもあると思いますが信仰の友、祈りの友と支え合いながら、神様にゆだねながら歩みを続けたいと思います。

飯沼悞主事の活動報告



お祈りお支えくださりありがとうございます。

7月以降の活動を報告させていただきます。学生たちは7月から夏期学校に向けて友人をどのように誘おうか迷いながら、多くの友人に伝えることができました。伝えることができる恵みに学生たちと共に励まされ、また勇気をもって声をかける学生の姿を見て、主事としても励まされた時となりました。

7月8日と教会のCSキャンプの講師として招かれ奉仕することができ感謝でした。いつもとは違ったさらに若い子供たちに福音を届ける難しさと共に、子供たちがまっすぐと御言葉を受け取る姿に御言葉の力を感じさせられました。北陸がさらに若い魂に満たされることを祈らせられます。

8月最終週に行われた夏期学校に向けて夏期学校準備委員会も開かれました。家族の中で自分だけクリスチャンという人も多い夏期学校準備委員たちが、どうしたらこの福音を私たちの友人に伝えられるかと悩み、祈りつつ、準備してきました。「何のために生まれて、何をして喜ぶ」というテーマの中、夏期学校が開かれ、講師の鎌田主事から、創造の事実と、罪の現状が語られる中、私たちに与えられた救いを大胆に語っていただきました。ノンクリスチャンたちも「続けて聖書研究会に集いたい」と語っており、後期の活動にとっても励ましを受けた夏期学校となりました。

9月の11-12日とイシューイシャ合宿(恋愛・結婚・性についての学びの合宿)が行われ、末吉主事が女子学生に大いに携わって下さいました。2日目は聖書の結婚観について私が講演し、学生同士で結婚について分かち合うことができ、良い備えとすることができました。

キャンパスレポート

学生に KGK をご紹介くださり、KGK にも学生をご紹介くださいましたら幸いです。

- T 大 : T キャンパスで多くのノンクリスチャンと聖書を読むことができます。またイシューイシャ合宿にも参加したノンクリスチャンもおり、クリスチャンの結婚観を共に分かち合うことができました。
- K 大 : K キャンパスで聖書研究会が行われています。新しいクリスチャンの先生も加えられました。学内活動が守られ、友人に証ができるようにお祈りください。
T キャンパスでは、忙しいメンバーがいる中で聖書を開くことができていることに感謝しています。医療系のキャンパスの中でも良き証がなされ、聖研に集う学生が起こされるようにお祈りください。
- KB 大 : 安定して聖書研究会が開かれていると同時に、続けてノンクリスチャンも参加しています。そのような中で、救いを決心する学生が起こされるようにお祈りください。
- KK 大 : ノンクリスチャンの友人が夏期学校に参加してくれました。聖書研究会にも参加したいと夏期学校中に話してくれました。御言葉の種が続けて蒔かれるようにお祈りください。
- KG 大 : 活動が休止中になっていますが、後期の聖研に行ってきます月間に行いたいと思っています。学内にいる学生が励まされ、1 回でも聖研が開かれることができるようお祈りください。
- F 大 : B キャンパスでは、留学生が与えられ、留学生と一緒に聖研を続けることができます。ノンクリスチャンの参加もあり、さらに加えられ、活動が安定できるようにお祈りください。
M キャンパスは今年度、活動が休止しています。FK 大と協力して、ノンクリスチャンのメンバーに福音を届けられるようにお祈りください。
- FK 大 : 不定期でありながら聖書研究会が開かれていることに感謝しています。少人数でも続けることができる勇気が与えられるようにお祈りください。
- FK : クリスチャン学生が最終学年となっており、来年度以降の活動について祈っています。学内でクリスチャン学生が見つかるように。また、続ける知恵が与えられるようにお祈りください。
- HG 大 : 夏期学校に参加したノンクリスチャンがぜひ自分の学内でも聖書研究会をしたいと準備しています。準備が守られ、志を持ち続けることができるようにお祈りください。
- その他、KGK に関わっている学生がいる学内や学内活動のない学校で祈り会や聖研が始められるようにお祈りください。またご紹介いただいている学生たちとコンタクトをとり、交わりが与えられ、KGK 活動に関わってもらえるように適切な働きかけができるようにお祈りください。

お知らせ

各県卒業生会

富山・石川・福井 各県月 1 回 新しく、関西でも北陸地区の集まりが開始されました!
卒業され何年か経過された方、学生時代 KGK に参加されなくても興味がある方など、ご参加頂けましたら幸いです。参加される方は飯沼までご一報ください。

卒業生合宿 (卒業生 & 4 年生以上)

日時: 10 月 7 (日) -8 日 (月・休) 会場: セミナーハウスあいりす
講師: 池淵亮介主事
テーマ: 聖書から学ぶ恋愛・結婚

KGK セミナー (一般)

日時: 10 月 20 日 (土) 13:00-16:00 会場: 白山めぐみ教会
テーマ: 「なぜクリスチャンは天皇制を問題とするのか」
講師: 山口契先生 (金沢中央キリスト教会副牧師)

EAGC (東アジア地区卒業生大会) (卒業生)

日時: 2019 年 8 月 9 (金) -13 日 (火) 会場: 国立オリンピック記念少年総合センター
テーマ: 和解 講師: Chris rice、菅家庄一郎先生

転勤などで住所を変更された方は、飯沼までご連絡ください。